

# ***Focus Blue 14 / 40 / 80V***

## 点字ディスプレイ ユーザーガイド

Freedom Scientific (Vispero™グループ)  
日本語訳 有限会社エクストラ

この文書の情報は、予告なく変更する可能性があります。この文書のいかなる部分も、Freedom Scientificおよび有限会社エクストラの許諾を得ることなく、電子的、機械的などのいかなる方法およびいかなる目的によっても複製または送信することを禁じます。

Copyright © 2018 Freedom Scientific. All Rights Reserved.

JAWSは、米国およびその他の国におけるFreedom Scientificの登録商標です。MicrosoftおよびWindowsは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。

## 使用上の注意

Focus Blueの修理を試みたり、機器本体を分解したりしないでください。この製品には、ユーザーが修理できる部品は含まれていません。内部コンポーネントの保守または交換を許可なく行った場合、製品保証が無効になります。

Focus Blueを使用する際は、湿度の高い場所、雨など、水没の危険から遠ざけてください。

駐車中の車内のような極端に気温の高い場所には保管しないでください。

内部バッテリーパックを充電するには、Focus Blue付属の電源アダプターのみを使用してください。その他のアダプターを使用した場合、本体を損傷する可能性があります。

# 目次

製品概要.....	1
内容物の確認.....	2
外観.....	3
NAV ロッカー/ NAV モードボタン.....	4
パンボタン.....	4
ロッカーバー.....	4
選択ボタン.....	4
パンロッカー(Focus 80のみ).....	5
シフトボタン.....	5
タッチカーソルキー.....	5
電源ボタン.....	5
内蔵バッテリー.....	6
Focusを接続する.....	7
Focus Blue ドライバーのインストール.....	8
USB接続の設定.....	8
Bluetooth接続の設定.....	9
モバイルデバイスとのペアリング.....	11
USB接続とBluetooth接続の切り替え.....	11
FocusをJAWSで使用する.....	12
ステータスセルの配置.....	12
Firmnessの調整.....	12
パーキンス式キーボードのロック.....	14
ディスプレイ設定メニュー.....	15
Bluetooth ID.....	15
Repeat.....	15
Rest.....	15
Clock.....	16
Calendar.....	17

Firmness .....	18
Connections .....	19
Language .....	20
<b>診断モード.....</b>	<b>21</b>
診断モードの開始と終了 .....	21
タッチカーソルキーテスト.....	21
表示テスト/クリーニング .....	21
キー&コントロールテスト .....	22
バッテリー情報モード .....	23
<b>Scratchpad機能 .....</b>	<b>24</b>
Scratchpadの起動 .....	24
ファイルナビゲーションコマンド .....	25
新規ファイルの作成.....	25
ファイルの保存.....	25
ファイルを開く.....	26
ファイルの削除.....	26
文字の編集.....	26
文字の検索.....	27
ファイルのエクスポート .....	27
<b>トラブルシューティング .....</b>	<b>29</b>
<b>環境・海外規制対応について .....</b>	<b>31</b>
<b>お問い合わせ先 .....</b>	<b>33</b>

## 製品概要

---

Focus Blue Vシリーズは、コンピュータを指先の感触で操作することのできるコンパクトな点字ディスプレイです。JAWS for Windowsなどの画面読み上げソフトと組み合わせると、コンピュータをより快適にお使いいただけます。

Focus Blue Vシリーズの主な機能は、以下のとおりです。

- 14または40または80セルの点字ディスプレイ
- 各セルの上部にタッチカーソルキーを装備
- 8キーのパーキンス式点字キーボード
- パンボタン、ロッカーバー、選択ボタン、シフトボタンを2つずつ搭載
- ディスプレイ両端のNAVロッカーとモードボタンを使用し、ファイルやリスト、メニューへの素早いナビゲーションが可能
- 本体中央、タッチカーソルキーの上部に配置されたメニューボタンで、Calendar、Clock、Bluetooth接続設定などへのクイックアクセスが可能
- 点の強さを調整可能
- ディスプレイのステータスセルをディスプレイの左右どちら側にも設定可能
- USBでのコンピュータ接続機能
- Bluetooth® 接続機能(5台まで)
- サードパーティ製画面読み上げソフト、一部の携帯電話・モバイルデバイスへの対応

## 内容物の確認

---

- Focus Blue 14または40または80 V 本体
- 電源アダプター
- USB ケーブル
- キャリングケース
- 墨字版及び点字版マニュアル
- コンパニオンCD(ドライバー、英語版マニュアル類収録)
- 保証書

ディスプレイの左側に、手前から奥に向かって、横長の電源ボタンと標準マイクロUSBポートがあります。USBポートは、付属のUSBケーブルを使ってディスプレイをコンピュータに接続するか、電源アダプターに接続するのに使用します。

点字表示部は、本体の上面手前にあります。各セルの上にはタッチカーソルキーがあります。ディスプレイ表面の両端には、簡単ナビゲーション用のNAVロッカーボタンがあります。NAVロッカーの上にあるのはNAVモードボタンで、異なるナビゲーション間を切り替えます。

タッチカーソルキーのすぐ上には、パーキンス式点字キーボードに似た8つのキーがあります。8つの点字キーは左から右に、7, 3, 2, 1, 4, 5, 6, 8の順に並んでいます。1と4の間には、Focus設定メニューにアクセスするためのメニューボタンがあります。ディスプレイの中央手前にはスペースキーがあります。このキーは点字入力やコマンドを実行する際に使用します。スペースキーを使用したコマンドは一般的にコードコマンドと呼ばれます。例：Lコードまたは1-2-3点コード。

ディスプレイの操作キーは左から順に、以下の通り並んでいます。14マスモデル、40マスモデル、80マスモデルでは、ディスプレイの操作キーレイアウトが若干異なります。

**Focus 14** : 左選択ボタン、左ロッカーバー、左パンボタン、左シフトボタン、右シフトボタン、右パンボタン、右ロッカーバー、右選択ボタン

**Focus 40** : 左パンボタン、左ロッカーバー、左選択ボタン、左シフトボタン、右シフトボタン、右選択ボタン、右ロッカーバー、右パンボタン

**Focus 80** : 左パンボタン、左ロッカーバー、左選択ボタン、二つの左パンロッカー、左シフトボタン、右シフトボタン、二つの右パンロッカー、右選択ボタン、右ロッカーバー、右パンボタン

注意：以下のセクションでは、Focus をJAWSと同時に使用した際に、これらの操作がどう機能するかを説明しています。Focusをサードパーティ製の画面読み上げソフトと一緒にコンピュータまたはモバイルデバイスでご使用になる場合は、操作が異なる場合がございますので、操作に関してソフトの取り扱い説明書を参照してください。

## NAV ロッカー/ NAV モードボタン

NAV ロッカーボタンを使用すると、ファイル、ダイアログボックス、リスト、メニューの中での移動を素早く行えます。ファイル内では行、文、段落、後方パン、前方パン可能です。4つの操作モードを切り替えるには、各NAVロッカーボタンの上部にあるNAVモードボタンを押します。ダイアログボックス内では使用可能な操作を選択することや、その操作に干渉することもできます。メニューでは、メニュー項目を上下に移動できます。左または右NAVモードボタンとスペースキーを同時に押すことで、NAVロッカーを完全にオフにすることもできます。左または右のNAVモードボタン+スペースキーをもう一度実行して、再度オンにします。

## パンボタン

パンボタンは、押すたびに1画面ずつ左右に移動します。Focusの左前面にある左向きの印のついた左パンボタンを押すと、左に移動します。Focusの右前面にある右向きの印のついた右パンボタンを押すと、右に移動します。JAWSを使用している場合、パンボタンの機能を左右逆転させることもでき、その場合は、左パンボタンで右パン、右パンボタンで左パンとなります。詳細については、JAWSキーボードマネージャーのヘルプを参照してください。

## ロッカーバー

ロッカーバーは、一行ずつ上下に移動します。ロッカーバーの上端を押すと一行上に移動します。ロッカーバーの下端を押すと一行下に移動します。ロッカーバーはパンボタンと併用すると、カーソルが当てられている行の先頭または末尾に移動できます。パンボタンを押しながらロッカーバーの上側を押すと行の先頭に移動します。反対に、パンボタンを押しながらロッカーバーの下側を押すと行の末尾に移動します。

## 選択ボタン

選択ボタンは、単体で使用して自動パンを制御します。両方の**選択ボタン**を同時に押すと、自動パンのオンオフが切り替わります。左**選択ボタン**を押して自動パンの速度を下げるか、または右**選択ボタン**を押して自動パンの速度を上げます。他の操作と組み合わせて押すと、**選択ボタン**は複数の機能を実行します。例えば、**選択ボタン**とロッカーバーの上部または下部を組み合わせて押すと、ページを上または下に移動します。**選択ボタン**と右または左**パンボタン**を押して、ファイルの上または下に移動することもできます。



## パンロッカー(Focus 80のみ)

Focus 80の4つのパンロッカーは、追加のパンボタンとして動作します。ロッカーバーと同じように操作します。パンロッカーのどれかを上に押すと左にパンし、下に押すと右にパンします。

## シフトボタン

シフトボタンはスペースキー・点字キーとその他操作入力コマンドの組み合わせで使用します。例として、JAWS使用時には左シフト+4点または1点で、文書内の次または前の行の選択を行います。

## タッチカーソルキー

各セルの上にタッチカーソルキーがあります。タッチカーソルキーを押すと、カーソルをその点字上に移動することや、ウェブページ・Eメール内のリンクを選択することができます。ラインモードではタッチカーソルキーを押すとメニューを開くか、選択項目を開きます。

タッチカーソルキーを押しながら、左または右パンボタンを同時に押すと、マウスの右クリックと同様に機能します。

文書内では、テキストを選択するのにタッチカーソルキーを使用します。タッチカーソルキーを使用して選択を行うには、左シフトボタンを押しながら、選択を開始したい文字の上のタッチカーソルキーを押します。両方のキーを放し、選択を終了する位置まで移動し、左シフトボタンとその場所のタッチカーソルキーを押します。選択したテキスト範囲内では、NAVロッカーを含む操作コマンドが使用できますが、テキストスクロールを含むウィンドウでは、選択した情報に影響します。

## 電源ボタン

電源ボタンは、本機がUSBポートに接続されていない場合に本機の電源のオン/オフを切り替えます。ボタンを3秒間長押しすると、ディスプレイに電源が入り、再び3秒間長押しするとディスプレイの電源が切れます。

## 内蔵バッテリー

本機には、Bluetoothオペレーションのためのバッテリーが内蔵されています。本機を Bluetooth接続で使う場合、約20時間の連続使用が可能です。ディスプレイ使用中に電池残量をチェックするには、メニューボタンを押し、電池残量情報を含むステータスメッセージを表示させる必要があります。通常のコピー操作に戻るには左選択ボタンを押してください。

電池残量が少なくなってくると、残量が20%、10%、5%のときにそれぞれ警告が表示されて、電源アダプターに接続するよう促します。このメッセージは、タッチカーソルキーを押して消すことができます。また、残量が10%未満になると、1%減る毎に最後の5つのセルに通知されます。例えば、40マスモデルの場合電池残量が1%の場合セル40の8の点が浮き上がります。

充電は製品に付属の電源アダプターで行ってください。付属の電源アダプターを使うと、Bluetooth接続でご使用中でも、3時間で充電が完了します。電池残量がゼロになっていなければ、充電に要する時間は短くなります。FocusはUSBケーブルでコンピュータに接続している間も充電を行います。ただし、充電に要する時間は電源アダプターを使った場合と比較すると長くなります。充電が始まると、充電が100%になるまで、パーセンテージの右に充電中の表示と点で円形が表示されます。充電中も本機を使用することができます。

注意: 内蔵バッテリーは、お客様ご自身では修理できない部品です。高電圧ショックの危険性があります。

## Focusを接続する

---

本機をコンピュータに接続するには、付属のUSBケーブルまたは Bluetoothを使います。USBポートに接続すると、USB接続ケーブルを介してコンピュータから電源供給が行われ、内蔵バッテリーの充電も行います。USBケーブルをコンピュータに接続すると、本機は直ちに起動します。USBケーブルを外すと、本機の電源が切れます。

Bluetoothは、短距離無線通信技術のひとつです。Bluetooth機能付きの端末は、約10mの範囲内であれば物理的につながってなくても通信することができます。本機をBluetoothで接続すると、ケーブル配線の心配なくソファなどでリラックスしてコンピュータの点字ディスプレイやキーボードとして部屋のどこからでも使うことができます。

Bluetoothを使うには、Bluetooth対応のコンピュータとのペアリングを確立する必要があります。最近のノートブックコンピュータや携帯電話の多く、デスクトップコンピュータの一部は、Bluetoothを内蔵しています。お使いのコンピュータがBluetoothを内蔵していない場合にこの機能を使うには、外部USB Bluetoothアダプターを購入して専用のドライバーをインストールする必要があります。お使いのコンピュータがBluetoothに対応しているかどうかを確認するには、コンピュータ付属のマニュアルを参照してください。

Focus Blueは5台までBluetooth 接続可能かつ、1台はUSB経由で接続可能です。そのためお使いのデスクトップはUSB経由で接続し、スマートフォンやタブレットはBluetoothで接続するといった使い方ができます。アクティブな接続の管理については、接続に関する章をご参照ください。

## Focus Blue ドライバーのインストール

JAWSをインストールすると、インストールの過程で、Focus Blueを使用するために必要なファイルを自動的にインストールします。しかし、Focusを他の画面読み上げソフトと組み合わせて使う場合は、以下のようにコンパニオンCDからドライバーをインストールする必要があります。

注意：次の操作を行う前に、Focusとコンピュータの接続を切ってください。接続を切らずにこの操作を行った場合、正常なインストールができず、Focusが正常に動作しない場合があります。

1. コンパニオンCDを挿入します。[Freedom Scientific Focusセットアップ]ダイアログボックスが開いたら、[Windowsドライバーのインストール]を選んでください。ドライバーインストール中に何度かクリック音が聞こえます。
2. インストールが完了したら、[OK]ボタンを選んでコンピュータを再起動してください。

## USB接続の設定

Focus Blue点字ディスプレイをUSB接続でご使用になる設定は、以下のように行います。

注意：サードパーティ製の画面読み上げソフトを使用する場合は、手順が異なる場合があるため、そのソフトウェアのマニュアルを参照してください。

1. 付属のUSBケーブルを使って、Focusとコンピュータを接続します。
2. Windowsはディスプレイを検出してドライバーをインストールします。
3. Windowsがハードウェアのインストール成功を確認したら、インストールは終了です。JAWSをお使いの場合にはJAWSを再起動してください。JAWSが自動的にFocusを検出し使用できるようになります。

## Bluetooth接続の設定

本機をコンピュータとBluetooth接続する場合には、まず本機とコンピュータの間でペアリングを行う必要があります。

Focusとコンピュータの Bluetoothペアリングを確立するには、以下を行ってください。

1. コンピュータのBluetoothが有効になっていることを確認してください。外部USB Bluetoothアダプターをお使いの場合は、装着後に正しく検出されていることを確認してください。
2. 本機の電源を入れます。時間と電池残量が表示されます。
3. コントロールパネルの検索ボックスに Bluetoothと入力します。
4. TABを押して[Bluetoothデバイスの追加]を選び、8点を押します。コンピュータはBluetoothデバイスの検出を始めます。これには数秒かかる場合があります。検索が終わると、デバイス一覧に追加されます。
5. 矢印キーを使用しリストからFocusディスプレイ(「Focus 14 BT」または「Focus 40 BT」または「Focus 80 BT」と表示)を選択し、8点を押します。Focusディスプレイが見つからない場合は、電源が入っていることを確かめてから、[再試行]ボタンを選択してください。
6. [ペアリングコードの入力]ボタンを選び、編集フィールドに 0000と入力し、8点を押します。

次に本機を Bluetooth接続で使えるようにJAWSを設定する必要があります。Bluetoothを使う前にUSB接続を確立しておく必要はありません。本機とUSB接続を設定していない場合は、以下を行ってください。

注意: サードパーティ製画面読み上げソフトを使用している場合は、手順が異なる場合があるため、そのソフトのマニュアルに従ってください。

1. INSERT+Jを押して、JAWSウィンドウを開きます。
2. ALT+Oを押して、[オプション]メニューを開き、[点字]を選んで [点字基本設定]ダイアログボックスを開いてください。
3. TABキーを押して「点字ディスプレイを追加」ボタンに移動し、8点を押します。

4. 点字ディスプレイ一覧からFocusを選び、スペースキーを押して選択し、[次へ]を選びます。
5. [出力ポートの選択]コンボボックスで[Bluetooth]を選んでください。
6. [次へ]を選んで、Focusがプライマリディスプレイに選ばれていることを確認してください。
7. [完了]を選ぶと、JAWSを再起動して変更内容を適用するよう促します。[OK]を選んでこのメッセージを閉じ、もう一度[OK]を選んで[点字基本設定]ダイアログボックスを閉じます。
8. JAWSを終了して再起動すると、FocusはBluetooth経由でJAWSとの通信を行います。

本機をUSB接続からBluetoothに変更したい場合は、以下を行ってください。

1. INSERT+Jを押して JAWSウィンドウを開きます。
2. Alt+Oを押して[オプション]メニューを開き、[点字]を選んで[点字基本設定]ダイアログボックスを開きます。
3. [使用する点字ディスプレイ]コンボボックスで、Focusが選択されていることを確認し、[設定の変更]を選びます。
4. [出力ポートの選択]コンボボックスで[Bluetooth]を選んでください。
5. [OK]を選ぶと変更を有効にするためにJAWSを再起動するよう促されます。[OK]を選んでこのメッセージを閉じ、もう一度[OK]を選んで[点字基本設定]ダイアログボックスを閉じます。
6. JAWSを終了して再起動すると、本機はBluetoothでJAWSとの通信を行います。

JAWSがBluetooth経由での本機との通信を確立したら、USBとBluetoothを自由に切り替えることができます。また、設定センターの[点字]→[一般]→[Bluetooth接続の点字ディスプレイを自動検出(D)]から、オプションをオンにすることで、JAWSがアプリケーションの再起動をせずにBluetooth接続を検知するよう設定することも可能です。

電池残量をチェックするには、メニューボタンを押して、電池残量をパーセント表示してください。「BT」の文字がディスプレイの最後に表示され、Bluetooth接続が有効であることを示します。左選択ボタンを押すと通常の操作に戻ります。

## モバイルデバイスとのペアリング

AppleのiOS™やGoogleのAndroid™オペレーティングシステムを搭載したモバイルデバイスでは、FocusをBluetoothディスプレイとして使用できます。FocusをiOSまたはAndroidデバイスとペアリング設定するための手順と便利なコマンドは、コンパニオンCDに収録されています。

注意：Focusとのペアリング設定には、AppleデバイスでiOS 11以降のバージョンが動作している必要があります。

最初にFocusと他のBluetoothデバイスをペアリングするときは、ディスプレイの電源が入っていて、USBに接続されていないことを確認してください。ペアリング完了後は、USBケーブルを接続し、次のセクションに記載されている手順またはディスプレイの接続メニュー（このマニュアルの後半で説明）を使用して、アクティブな接続間を移動できます。

## USB接続とBluetooth接続の切り替え

複数のアクティブな接続でFocusを使用している場合は、一緒にメニューボタン+1点から5点の組み合わせを押して、5つのBluetooth接続の一つに素早く切り替えるか、メニュー+8点を押してUSB接続に切り替えます。

例えば、FocusがiPhoneに接続されていて、現在USB接続でコンピュータのディスプレイとして使用している場合は、メニュー+1点を押して、iPhoneに割り当てられているBluetooth接続に切り替えます。お使いの携帯電話で必要な作業を行ったら、メニュー+8点を押してUSB接続に戻り、コンピュータの使用を再開します。

メニューボタンを押し、ステータスメッセージを表示させ、1-2-3の点を同時に押すことで、コンピュータとのUSB接続と、スマートフォンやタブレットあるいはJAWSが動作している別のコンピュータとのBluetooth接続を素早く簡単に切り替えて使用することができます。接続を切り替えてもステータスメッセージが表示される場合は、デバイスを解除すればディスプレイを感知し接続が有効になります。

# FocusをJAWSで使用する

以下のセクションでは、Focusがコンピュータに接続されているときに使用できるJAWS機能について簡単に説明します。別の画面読み上げソフトを使用する場合や、モバイルデバイスでFocusを使用する場合は点字機能についてソフトウェアに付属のマニュアルを参照してください。

## ステータスセルの配置

情報のステータスセルをディスプレイの左端または右端に配置するか、全く表示しないかを指定できます。ステータスセルは、既定でディスプレイの左端に配置されています。

ステータスセルの配置を設定するには、以下を実行します:

1. **Insert+F2**を押し、続いて[設定センター]を選択します。
2. すべてのアプリケーションに変更を適用するには、**Ctrl+Shift+D**を押してJAWSの既定の設定をロードします。特定のアプリケーションに変更を適用するには、[アプリケーション]コンボボックスから変更を適用するアプリケーションを選択します。
3. 検索のエディットボックスに、ステータスセルと入力します。
4. 下矢印を押して、フィルタリングされた検索結果の[ステータスセルの位置]に移動します。
5. スペースキーを使用して目的の設定を選択し、[OK]をクリックして[設定センター]を閉じます。

## Firmnessの調整

Focusで表示する点の強さを設定できます。強さは5段階あり、指の感度に最も適した強さを選んで下さい。設定を行うには以下の手順に従ってください。

1. **Insert+F2**を押し、続いて[設定センター]を選択します。
2. すべてのアプリケーションに変更を適用するには、**Ctrl+Shift+D**を押してJAWSの既定の設定をロードします。特定のアプリケーションに変更を適用するには、[アプリケーション]コンボボックスから変更適用したいアプリケーションを選択します。



3. 検索のエディットボックスで、Firmnessと入力します。
4. 下矢印を押してフィルタされた検索結果の[Firmness]に移動します。
5. スペースキーを使用して強さのレベルを設定し、[OK]を選択して設定センターを閉じます。

## パーキンス式キーボードのロック

---

FocusをコンピュータのQWERTYキーボードの前に置いて使用する場合、誤ってパーキンス式キーボードを押して、不要なテキストやコマンドを入力しないように、ディスプレイ上部をロックすることができます。

Focusキーボードをロックするには、メニューボタンを押してステータス情報を表示し、タッチカーソルキーと左NAVモードボタンを同時に押します。キーボードがロックされていることを示すために、2-3-4-6-7-8と1-3-5-6-7-8の点が、ディスプレイの右端に向かって2つのセルに表示されます。左選択ボタンを押すと通常の操作に戻ります。ロックされると、1~8点またはスペースキーを押しても、キーストロークがコンピュータに送信されなくなります。

キーボードのロックを解除してもう一度テキストを入力したり、Focusからコマンドを実行したりするには、メニューボタンを押してステータス情報を表示し、タッチカーソルキーと右NAVモードボタンを同時に押します。左選択ボタンを押すと通常の操作に戻り、もう一度Focusを使用してテキストを入力できます。

# ディスプレイ設定メニュー

Focusステータス情報を表示中にメニューボタンを押すとFocusの各種設定を行うメニューを起動します。設定可能なオプションは以下の通りです。

最初にメニューが開くと、Bluetooth ID設定が選ばれています。使用可能な設定間の移動は、ロッカーバーまたは4-5点コードまたは1-2点コードを押してください。メニュー項目で右シフトボタンまたは8点を押すとその設定に移ります。使用可能なオプション間を移動するには、ロッカーバーを使います。メニューを終了して変更を保存するには、8の点を押します。サブメニューから抜けて変更を保存する場合、8点または右選択ボタンを押します。Zコード(1-3-5-6点コード)を押すと、変更を保存せずにメニューを終了します。これらのコマンドはどちらもディスプレイを通常の操作に戻します。

## Bluetooth ID

このオプションは、Focusがコンピュータや携帯電話とのペアリングに使う Bluetooth IDを表示します。各Focusディスプレイは固有のIDになります。他にもBluetoothを利用しているFocusディスプレイがあり、ペアリングを区別したい場合などに便利です。

## Repeat

このオプションは、ディスプレイのNAVロッカーを長押しした時のリピートの速さを設定します。例えば、リストの項目を素早くスクロールしたい場合などです。設定にはオフ、低速、中速、高速の4段階があります。オフは「1のセルの1から6の点」が表示されています。低速は「1と2のセルで1から6の点」、中速は「1から3のセルで1から6の点」、高速は「1から4のセルで1から6の点」が表示されています。既定の設定では、1と2のセルが全て表示され、キーリピートは低速になっています。

## Rest

このメニューでは、本体の操作を行っていない場合に、何分後にスリープモードを開始するかを設定できます。5分、15分、30分、45分の中から選ぶことができます。5分は2-6の点、15分は 2の点に2-6の点、30分は2-5の点に3-5-6の点、45分は2-5-6の点に2-6の点を表示します。

## Clock

Clockのサブメニューでは、ステータスメッセージの一部として表示される時刻を設定できます。

時刻の設定方法は以下の通りです。

1. メニューボタンを押し、ディスプレイ設定メニューへアクセスします。
2. 4-5点コードまたはロッカーバーを押し、Clockに移動し、8点または右シフトボタンを押しします。
3. Clock設定を開くと、まず時の値の設定になります。ロッカーバーを使用し、時の値を設定してください。
4. 4-5点コードまたは右パンボタンで、分の値を選択し、ロッカーバーで分の値を設定してください。
5. 4-5点コードまたは右パンボタンを押し秒の値のオンオフを選択すると、ロッカーバーで秒の値の表示のオンオフを切り替えられます。オンの場合時間のステータスメッセージの一部に秒数が表示されます。
6. 4-5点コードまたは右パンボタンを押すと、AM・PM/24時間表示の選択に移り、ロッカーバーを押すと、AM・PMまたは24時間表示を選択できます。24時間表示は、数字で24(1-2点と1-4-5点)と表示されています。
7. 8点または右選択ボタンを押すと、Clockのサブメニューを閉じ変更を保存できます。Zコード(1-3-5-6点コード)または左選択ボタンを押すと、変更を保存せずにサブメニューを閉じます。
8. Zコード(1-3-5-6点コード)または左選択ボタンを押すと設定メニューを終了します。

# Calendar

Calendarでは、日付を設定することができます。メニューボタンとD(1-4-5点)を同時に押すといつでも日付設定を表示することができます。タッチカーソルキーを押すと通常の操作に戻ります。日付の設定方法は以下の通りです。

1. メニューボタンを押して、ディスプレイ設定メニューにアクセスします。
2. 4-5点コードまたはロッカーバーをCalendarが表示されるまで押し、8点または右シフトボタンを押します。
3. Calendar設定を開くと、まず日の値の設定になります。ロッカーバーを使用し、日の値を設定してください。
4. 4-5点コードまたは右パンボタンで、月の値を選択し、ロッカーバーで月の値を設定してください。
5. 4-5点コードまたは右パンボタンで、年の値を選択し、ロッカーバーで年の値を設定してください。
6. 4-5点コードまたは右パンボタンで、日付の表示方法を選択し、ロッカーバーで[yyyy/mm/dd]、[mm/dd/yyyy]、[dd/mm/yyyy]の中から表示方法を選択してください。
7. 8点または右選択ボタンを押すと、Calendarのサブメニューを閉じ変更を保存できます。Zコード(1-3-5-6点コード)または左選択ボタンを押すと、変更を保存せずにサブメニューを閉じます。
8. Zコード(1-3-5-6点コード)または左選択ボタンを押すと、設定メニューを終了します

## Firmness

このサブメニューでは、Focusステータス情報を表示したり、メニュー操作、その他の内部メッセージを表示したりする際の点字の強さを指定できます。強さには0%、25%、50%、75%、100%の5つのレベルがあります。ロッカーバーを使用してレベルを選択し、8点または右選択ボタンを押します。選択したFirmnessの設定がすぐに有効になります。Zコード(1-3-5-6点コード)または左選択ボタンを押すと、変更を保存せずにメインの設定メニューに戻ります。

注意: 画面読み上げソフトによって設定された点の強さの値が、Focus設定メニューで設定された値と異なる場合、ディスプレイとアプリケーションとの通信がなくなっても、画面読み上げソフトの値が引き続き使用されます。ディスプレイがUSBまたはBluetooth経由で点の強さを制御する画面読み上げソフトで使用されていないときは、好みのレベルの堅さをリセットできます。

## Connections

このメニュー項目をアクティブにすると、アクティブな接続先のリストが表示されません。現在使用中のアクティブな接続であることを示すのに、接続名の下に7-8の点が表示されます。

ロッカーバーを使用し、使用する接続まで移動し、8点または右選択ボタンを押して切り替えます。たとえば、JAWSを実行しているプライマリコンピュータにFocusがUSB経由で接続されている状態で、iPhoneがテキストメッセージを受信し点字ディスプレイを使用してメッセージを読み、返信したい場合、一旦iPhoneのBluetooth接続に切り替え、返信した後USB接続に戻り、コンピュータへの点字アクセスを再開することができます。

注意: ディスプレイがUSBからBluetooth接続に切り替える前に、AndroidおよびiOSデバイスをロックする必要があります。ディスプレイがBluetoothに切り替えられたら、モバイルデバイスのロックを解除して、ディスプレイを見つけいつものように使用するようにします。接続が確立されたら、最初にデバイスをロック/ロック解除したりせずに接続を切り替えることができます。

特定の接続を削除するには、ロッカーバーを使用してリスト内を移動し、左Shift+D (1-4-5点)または左Shift +右選択ボタンを押します。プロンプトが表示されたら、Y (1-3-4-5-6点)または右選択ボタンを押して接続を削除するか、N(1-3-4-5点)または左選択ボタンを押して削除をキャンセルします。

リスト内のすべての接続を削除するには、ロッカーバーを使用し「接続リストをクリア」に移動し、8点または右選択ボタンを押します。プロンプトが表示されたら、Y(1-3-4-5-6点)または右選択ボタンを押し、すべての接続を削除するか、N(1-3-4-5点)または左選択ボタンを押して削除をキャンセルします。

注意: 使用中のアクティブな接続のペアリングを削除する場合、削除されたことを確認した後、ディスプレイの電源を切り再びオンにして、接続の取り外しを完了する必要があります。

## Language

このサブメニューでは、ステータスメッセージやメニュー内の操作をするときに使用する言語を選択できます。ロッカーバーを使用して言語を選択し、8点または右選択ボタンを押します。Zコード(1-3-5-6点コード)、または左選択ボタンを押すと、変更を保存せずにメインの設定メニューに戻ります。



Focus点字ディスプレイには、タッチカーソルキー、点字ディスプレイ、NAVロッカー、NAVモードボタン、点字キー、パンボタン、ロッカーバーおよび選択ボタンの診断テストプログラム(診断モード)が組み込まれています。診断モードに入る前に、コンピュータからFocusを外し、電源がオフになっていることを確認してください。

### 診断モードの開始と終了

電源ボタンを押しながら、左端から2つのタッチカーソルキー(1,2セルの上部)を同時に押します。診断モードが入力されたことを示すために、“press cr key / nav / panel keys”というテキストが表示されます。診断モードを終了するには、もう一度電源ボタンを押します。

### タッチカーソルキーテスト

タッチカーソルキーテストでは点字ディスプレイ上部の各タッチカーソルキーが正常に動作するか確認できます。任意のタッチカーソルキーを押すと、ボタンの下のセル内すべての点をアクティブにします。

### 表示テスト/クリーニング

テストを行う前にコンピュータから本機の接続を解除し、電源が切れていることを確認してください。表示テストは点字ディスプレイの各ピンが動くかどうかを確認するのに使います。また点字ディスプレイのクリーニングの役目も果たします。電源ボタンと右端のタッチカーソルキー(右端の2つのセル)を同時に押してください。この操作により、すべてのピンが動いてクリーニングを行うことができます。柔らかい布にイソプロピルアルコールを染み込ませてお使いください。セルのクリーニングは、ほかのもので代用しないでください。

このモードでは、左右どちらかのNAVロッカーの下を押すと、すべてのピンが表示されていない状態になります。左右どちらかのNAVロッカーの上を押すとすべてのピンが表示状態になります。

左右のモードボタンを押すと、ピンが上下に動きます。この操作を取り消すには、もう一度NAVモードボタンを押してください。

## キー&コントロールテスト

キー&コントロールテストは、各キーやコントロールが正しく動作するかどうかを確認します。下の表にあるキーやコントロールを押して、診断モードに入ると、テストを始められます。点字ディスプレイは、押されたキーを反映します。各キーの正確な点の表示位置は下の表のとおりです。各キーやコントロールを押して、正しく反応するかどうか確認してください。

キー	表示
1の点	1
2の点	2
3の点	3
4の点	4
5の点	5
6の点	6
7の点	7
8の点	8
メニュー	mnu
左シフト	kls
右シフト	krs
スペースキー	ksp
左パンボタン	pl
右パンボタン	pr
左選択ボタン	sl
右選択ボタン	sr
左モードボタン	nml
左 NAVロッカー 上	nlu

キー	表示
右モードボタン	nmr
右NAVロッカー 上	nru
右 NAVロッカー 下	nrd
左NAVロッカー 下	nld
左ロッカー スイッチ上	rlu
左ロッカー スイッチ 下	rld
右ロッカースイッチ 上	rru
右ロッカー スイッチ下	rrd

## バッテリー情報モード

このモードに入る前に、コンピュータから本機を外し、電源が切れていることを確認してください。2番目のセルの上のタッチカーソルキーを押しながら電源ボタンを押してください。本機は内蔵バッテリーについての詳細情報を表示します。

# Scratchpad機能

FocusのScratchpad機能を使用すると、挿入したマイクロSDカードにメモを作成して保存することができます。コンピュータやモバイルデバイスがすぐに使えず、電話番号や電子メールアドレスなどの情報をメモする必要がある場合に便利です。

Scratchpadには、切り取り(Cut)、コピー(Copy)、貼り付け(Paste)を含む、基本的なファイル操作と編集機能があります。使用する際に、アクティブなUSBまたはBluetooth接続は必要ありません。入力にはFocusのパーキンス式キーボードを使用し、一般的な文字列または略字点字を使用して入力することができます。Focusがコンピュータまたは他のデバイスに接続されている場合に、作成したファイルの内容を、開いているアプリケーションの編集ウィンドウに書き出すこともできます。

注意: マイクロSDカードスロットは、ディスプレイの左側の電源ボタンのすぐ手前にあります。

## Scratchpadの起動

Scratchpadを起動するには、メニュー+N(1-3-4-5点)を押します。すると、すぐに入力を開始できる新規ファイルが開きます。メニュー+B(1-2点)を押すと、Scratchpadは閉じずにバックグラウンドに置かれ、アクティブなUSBまたはBluetooth接続が再開されるか、Focusのステータスメッセージが表示されます。メニュー+Nをもう一度押すと、Scratchpadで開いているファイルに戻ります。

右シフト+H(1-2-5点)を押すと、Scratchpadのヘルプが開きます。ヘルプの確認が済んだら、Zコード(1-3-5-6点)を押してヘルプを閉じ、現在開いているファイルに戻ります。

Scratchpadのメニューボタンを押すと、[File]、[Edit]、および[Export]などのオプションを含むメニューが開きます。ロッカーバー、あるいは1点コードまたは4点コードを使用してメニュー項目を移動し、8点またはタッチカーソルキーを押してサブメニューを開くか、項目を選択します。1-2-3点コードまたは4-5-6点コードを使用して、メニューの上部または下部に移動します。Zコード(1-3-5-6点)を押してメニューを閉じ、ファイルに戻ります。ほとんどのメニューオプションには、以下のセクションで説明するショートカットキーも用意されています。

Scratchpadを完全に終了するには、右シフト+X(1-3-4-6点)をおします。

## ファイルナビゲーションコマンド

次の行に移動: 4点コードまたはロッカーバー下  
前の行に移動: 1点コードまたはロッカーバー上  
次の単語に移動: 5点コード  
前の単語に移動: 2点コード  
次の文字に移動: 6点コード  
前の文字に移動: 3点コード  
ファイルの先頭に移動: Lコード(1-2-3点コード)  
ファイルの最後に移動: 4-5-6点コード  
Backspace: 7点  
Enter (改行): 8点

ディスプレイの両端にあるNAVロッカーを使用すると、行、段落、または前後にパンすることができます。ナビゲーションモードを切り替えるには、各NAVロッカーの上にあるNAVモードボタンを押します。

## 新規ファイルの作成

Scratchpadを開くと自動的に新規ファイルが作成されます。必要に応じて、右シフト+N(1-3-4-5点)を押すことで、別の新規ファイルを作成することもできます。また、メニューボタンを押して[File]を選択し、[New]を選択することで同様に新しいファイルを作成することも可能です。現在開いているファイルがまだ保存されていない場合は、作業を保存するかどうかを確認するメッセージが表示されます。Y(1-3-4-5-6点)を押して現在のファイルを保存するか、N(1-3-4-5点)を押して現在の変更を破棄します。

## ファイルの保存

初めてファイルを保存する場合は、右シフト+A(1点)を押してファイル名を入力し、8点を押します。または、メニューボタンを押して[File]を選択し、[Save As]を選択します。

作業中のファイルに既に名前が付けられている場合は、右シフト+S(2-3-4点)を押すと変更内容を保存します。この操作は、メニューボタンを押し、[File]を選択し、[Save]を選択することでも可能です。

Scratchpadで作成したファイルは、マイクロSDカード内の、Notesというフォルダに自動的に保存されます。

## ファイルを開く

既存のファイルを開くには、右シフト+O(1-3-5点)を押します。Scratchpadで作成したファイルを開く場合は、ロッカーバーあるいは1点コードまたは4点コードを使用してNotesフォルダに移動し、8点を押します。カードにコピーしたBRFブックを開くには、ロッカーバーを使用するか、1点コードまたは4点コードを押してBooksフォルダに移動し、8点を押します。フォルダが開いたら、ロッカーバー、あるいは1点コードまたは4点コードを使用してリストからファイルを選択し、8点を押します。

ファイルが開き、前回閉じた際の最後の場所にカーソルが戻ります。

この操作は、メニューボタンを押して[File]を選択し、[Open]を選択することでも可能です。

注意：BRFファイルは常に読み取り専用として開きます。これらのファイルに文字を入力することはできません。

## ファイルの削除

ファイルを削除するには、メニューボタンを押して[File]を選択し、[Delete]を選択します。Scratchpadで作成したファイルを削除する場合は、ロッカーバーを使用するか、1点コードまたは4点コードを使用してNotesフォルダに移動し、8点を押します。カードにコピーしたBRFブックを削除するには、ロッカーバーを使用するか、1点コードまたは4点コードを押してBooksフォルダに移動し、8点を押します。フォルダが開いたら、ロッカーバーあるいは1点コードまたは4点コードを使用してリストからファイルを選択し、8点を押します。削除の確認メッセージが表示されます。ファイルを削除するにはY(1-3-4-5-6点)を、取り消すにはN(1-3-4-5点)を押します。

## 文字の編集

Scratchpadには、文字の選択、コピー、切り取り、貼り付け、削除などの基本的な文字編集機能があります。

注意：文字の編集は、Scratchpadで直接作成したファイルでのみ可能です。この機能は、BRFファイルではサポートされていません。

文字のブロックを選択するには、選択を開始したい位置にカーソルを置き、**左シフト+M(1-3-4点)**を押して、その位置にマークを設定します。次に、選択範囲を終了する位置にカーソルを移動し、**左シフト+S(2-3-4点)**を押して、マークとカーソル位置の間の文字をすべて選択します。選択された文字範囲を表すために、選択されたブロックの各文字の下に点7と8が表示されます。文字選択後には、次のいずれかの操作を実行できます。

クリップボードにコピー: **左シフト+C(1-4点)**

クリップボードに切り取り: **左シフト+X(1-3-4-6点)**

削除: **左シフト+D(1-4-5点)**

現在開いているファイルにクリップボードから文字を貼り付けるには、**左シフト+P(1-2-3-4点)**を押します。現在の時刻と日付をファイルに貼り付けることもできます。時刻または日付を貼り付けるには、**メニューボタン**を押し、Editを選択し、時刻の場合は[Paste Time]、日付の場合は[Paste Date]を選択します。

また、ファイル内の場所にマークを付けることで、すぐにその場所に戻ることができます。**左シフト+M(1-3-4点)**を使用してマークを設定でき、文字内の別の場所に移動している際に、**左シフト+G(1-2-4-5点)**を押すとマークされた場所に戻ることができます。

## 文字の検索

現在開いているファイルの中から単語や語句を検索し、すばやく見つけることができます。文字を検索するには、**右シフト+F(1-2-4点)**を押します。この操作は、**メニューボタン**を押し、[Edit]を選択し、[Find]を選択することでも可能です。検索したい文字を入力し、**8点**を押して検索を開始します。

次の検索結果を表示するには、**右シフト+4点**を押します。または、**メニューボタン**を押し、[Edit]を選択し、[Find Next]を選択します。

## ファイルのエクスポート

Focusとコンピュータ、または他のデバイスとの間に有効なUSBまたはBluetooth接

続がある場合、開いているファイルの内容をコンピュータ上のアプリケーションの編集ウィンドウにエクスポートできます。この機能を使用すれば、ファイルに書き込んだメモをMicrosoft Wordにエクスポートし、より高度な編集を行ったりできるようになります。

注意: 正しくエクスポートできる文字は、半角の英数字および記号です。また正しくエクスポートするにはNABCCで入力する必要があります。この場合、数字は数符なしの下がり数字で、大文字は7点をつけて入力します。  
メモを略字点字で取っている場合は、点字入力の文字への再変換をサポートするJAWSなどのスクリーンリーダーを実行している必要があります。スクリーンリーダーの点字入力設定は、Scratchpadに入力するときを使用している点字フォーマットと一致する必要があります。たとえば、UEB形式でメモを入力する場合、文字が正しく変換されるように、スクリーンリーダーの入力設定もUEB入力に設定する必要があります(ただし、略字での入力は日本語版のJAWSでは使用できません)。

ファイルをエクスポートするには、次の手順を実行します。

1. 接続先のコンピュータまたはデバイスで、エクスポートされた文字を含む文書にフォーカスが当たっていることを確認します。
2. Scratchpadでエクスポートするファイルを開きます。
3. メニューボタンを押し、[Export]を選択します。ファイルの内容は、コンピュータ上の文書に通常の文字として表示されます。必要であれば、Zコード(1-3-5-6点)を押してエクスポート処理をキャンセルすることができます。

注意: BRFファイルの内容はエクスポートできません。



## トラブルシューティング

問題	解決方法
ディスプレイが表示されない。	電源アダプターまたはUSBケーブルで本機をコンピュータに接続して充電を行ってください。USBに接続すると、本機の電源は常にオンになります。USBに接続していない場合は、電源ボタンを3秒以上長押ししてください。
バッテリーの充電ができない。 充電に時間がかかりすぎる。	Focusに付属の電源アダプターを使用しているか、ご確認ください。製品付属のアダプターを使用した場合、充電に要する時間は最大3時間です。USB接続したコンピュータから充電する場合は、もう少し時間がかかります。本機が正しく充電しているかどうかを確認するには、メニューボタンを押してFocusステータス情報を表示してください。

問題	解決方法
<p>ディスプレイに不要な点が表示され、点が出たままになってしまう。</p>	<p>「表示テスト」モードを起動してディスプレイをクリーニングし、柔らかい布をイソプロピルアルコールで湿らせてセルを拭いてみてください。詳しくは、本マニュアルの「表示テスト/クリーニング」をご参照ください。</p>
<p>Focusがコンピュータとつながらない。</p>	<p>JAWSをお使いのお客様は、コンピュータに正しくJAWSがインストールされているかどうかを確認してください。サードパーティ製の画面読み上げソフトを使用している場合、Focusに付属するCDからドライバーをインストールする必要があります。USB接続・Bluetooth接続いずれの場合でも、本マニュアルの「Focusを接続する」を参照してください。</p>

# 環境・海外規制対応について

---

## 保管環境

温度 0から45℃

湿度 80%以下 結露のない状態

## 操作環境

温度 5から35 °C

湿度 60%以下 結露のない状態

## 海外規制対応(英原文)

Contains Radio transmitter:

FCC ID: T7V1316 IC: 216Q-1316

MIC ID: [R]202-LSD

USA-Federal Communications Commission (FCC) Notice

This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to Part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses, and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications.

However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

- Reorient or relocate the receiving antenna.
- Increase the separation between the equipment and receiver.
- Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
- Consult the dealer or an experienced radio /TV technician for help.

This device complies with part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions: (1) This device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

Any changes or modifications not expressly approved by the party responsible for compliance could void the user's authority to operate the equipment.

Caution: Exposure to Radio Frequency Radiation.

This device must not be co-located or operating in conjunction with any other antenna or transmitter.

Canada – Industry Canada (IC) Notice

This Class B digital apparatus complies with Canadian ICES-003.

This device complies with RSS 210 of Industry Canada. Operation is subject to the following two conditions:

- (1) this device may not cause interference, and
- (2) this device must accept any interference, including interference that may cause undesired operation of this device.

Caution: Exposure to Radio Frequency Radiation.

The installer of this radio equipment must ensure that the antenna is located or pointed such that it does not emit RF field in excess of Health Canada limits for the general population; consult Safety Code 6, obtainable from Health Canada's website [www.hc-sc.gc.ca](http://www.hc-sc.gc.ca).

Attention

This unit has been shipped with cables that allow compliance with FCC Regulations. If replacement cables are needed in the future, contact Freedom Scientific to obtain the appropriately shielded cable.

## お問い合わせ先

---

有限会社エクストラ

〒424-0886 静岡県静岡市清水区草薙1丁目19-11

電話:054-368-6887

FAX:054-368-6883

Eメール:tech@extra.co.jp